

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市高津スポーツセンター	評価対象年度	平成24年度
事業者名	SELF高津スポーツセンター事業体 代表: ㈱カワサキスポーツサービス 代表取締役 河崎 進 住所: 川崎市高津区宇奈根607番地 <構成団体> 株式会社 カワサキスポーツサービス NPO法人高津総合型スポーツクラブ SELF	評価者	地域振興課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	高津区役所まちづくり推進部地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計									
	18,217	23,756	21,295	22,299	19,760	27,108	24,021	23,564	24,941	19,440	24,058	23,742	272,201									
収支実績 (単位:千円)	(単位)千円																					
	収入	指定管理委託費	49,849	支出	管理運営費	113,661	収入	利用料金収入	36,060	支出	自主事業費	58	収入	事業収入他	30,875	支出	支出計	113,717	収入計	116,784	収支差額	3,067
サービス向上の取組	<p>指定管理7年目となり、これまでに蓄積されたノウハウや、アンケート調査・館長へのひとことで得たニーズを積極的に分析し、昼夕休憩時間の教室開催や、24年度より事業化したストレッチルームの有効活用、割引率と利便性を向上した回数券(6枚1,000円20%割引)の設定や、ワンコイン(500円)で行える当日受付の教室等、利用者の要望・利便性に配慮した事業展開を行っている。</p> <p>情報発信については、ホームページの随時更新及び空き情報配信サービスをはじめ、館内エントランスに大型液晶ビジョンを2基、談話室コーナーにデジタルサイネージを搭載した自動販売機を設置、施設利用状況や空き情報、館内情報のほか、文化活動情報・災害時情報・行政情報など、地域の情報発信にも取り組み、幅広い媒体で利便性や利用促進へ向けた情報発信をしている。</p> <p>施設利用環境の整備にも努め、幼児体育室の活用についてはボランティア保育システムを確立し、子育て期の保護者におけるスポーツ活動参加の促進を図り、応募者が多い乳幼児スポーツ教室では定員数の拡大や、同じ種目をA班B班の2部編成するなどの対策に取り組んだ。また、スポーツの普及イベントとして、民間スポーツ関係団体等との連携やトップアスリートとの連携等、社会実情や区の課題を把握した地域色のある事業を展開し利用者の増加につなげている。</p> <p>利用環境の向上として、大小体育室の白熱電球をLED電球に交換し、適度な照度の確保と節電はもとより、室内の発熱低下にも大きな効果を上げ、夏季の熱中症対策に大きく貢献した。</p> <p>清涼飲料水の販売や消耗品のスポーツ用品の販売などに加え、独自の事業として、貸しロッカーやレンタルシューズなどを行ない、希望者の多いシューズロッカーについては増設し利便性のさらなる向上に努めている。</p>																					

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	4(0.8)	4
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	4(0.8)	4
	(評価の理由) 事業計画に基づいた施設の運営がなされている。 基本方針の具現化のため、「市民サービスの向上指針」を策定し、スタッフ全員共通意識のもとで市民サービスの向上に努めている。 自己評価・今後の展開・改善案等の検証・検討を行うとともに、利用者からのアンケート等により意見・要望の事業反映、プログラム改善に努めている。				
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無いう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	4(0.8)	4
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	4(0.8)	4
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービス(飲料・補食品の販売を含む)の向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4
	人員配置	スタッフが業務を適正に実施するための適切な労働条件や、労働環境が整備され、円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	4(0.8)	4
	職員研修	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	5(1.0)	5	
	(評価の理由) 事業計画に基づいた管理業務の実施がなされている。 ホームページの随時更新や施設空き情報の携帯メール発信、館内大型液晶ビジョン等による施設情報に加え、市政情報、災害時緊急情報等の積極的な情報発信や、地域人材を登用した保育サービス、講師の付いたスポーツデーなど、利便性・利用率向上への取り組みを精力的に行い、休憩時間を利用した各種教室実施や30種以上の多岐にわたる教室事業、新たに設置されたストレッチルームでの小集団による効果的な事業の展開など、施設の利用促進も積極的に行い、利用者数の増加へと繋がった。維持管理においては体育室の白熱電球をすべてLED電球に交換するなど、熱中症対策を積極的に行った。危機管理においても、計画どおりの日常点検・館内巡回、年間を通しての防災・避難訓練・危機管理研修に加え、消防署を招き職員及び利用者参加の避難訓練を実施するなど、危機管理の重要性に高い意識を持ち業務に当たっている。				

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	4(0.8)	4
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業が実施しているか(トレーニング室含む)。	5	4(0.8)	4
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	5(1.0)	5
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	4(0.8)	4
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っているか。	5	4(0.8)	4
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	5(1.0)	5
(評価の理由) 事業計画に基づいた事業実施がなされている。これまでの運営の実績をふまえた多岐にわたるニーズにあった教室事業や、トレーニング室拡張により個人や小集団が必要な幼児・高齢者に対応した教室、気軽にスポーツが楽しめるよう予約不要のワンコインで設定された教室等を開催し、常に定員を超える応募で、前年度利用者46,575人から約11%増加し、52,514人の参加があった。自主事業として、前年度に引き続き区民祭と同日開催による「第39回カスポ祭り」を実施し、収益を全額区民祭実行委員会に寄附。当日は約3,000人が来場し地域の連携を図る取組がなされた。市総合型地域スポーツクラブ育成連絡協議会においては中心的な役割を果たし情報提供・アドバイス等を行い、橘地区におけるクラブの設立にも積極的に協力している。					
収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	4(0.8)	4
	(評価の理由) 予算と決算の比較増減があるが、単年度内で調整し、適正に執行していると評価する。				

#### 4. 総合評価

評価点合計	81	評価ランク	B
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>地域密着の運営と様々なニーズに応える教室事業の展開という特色を活かしながら、公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果たすよう努めている。地域のスポーツ振興を担う施設としてスポーツ活動の場を提供するとともに、地域スポーツ活動の支援や意識啓発・情報提供、地域人材の育成等を積極的に行っている。</p> <p>行政課題や地域・利用者ニーズの把握に努め、空きスペースや新設されたストレッチルームの有効的な活用、休憩時間の教室開催や予約不要のワンコイン教室数の増加等、更なる施設活用を模索したことで利用者の増加に繋がった。</p> <p>体育室の白熱電球をすべてLED電球に交換し、適度な照度の確保と節電効果に加え、室内の発熱低下にも大きな効果を上げ、夏期における熱中症対策に大きく貢献したことは、利用者環境の向上や増加する利用者の安全を確保した。</p> <p>このような取り組みを評価し、評価点に反映させている。</p>
---

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>これまでの実績を活かし、今後も幼児から高齢者まで市民の多様なニーズに合わせた事業を展開し、スポーツで仲間とふれあい、地域での交流が楽しめる生涯スポーツの拠点を目指すとともに、施設の枠にとらわれず、地域のスポーツ施設や学校施設を利用した地域向け事業など、出張型事業の取り組みも推進すること。また、スポーツの持つ様々な効果が期待される、スポーツを通じた子どもの健全育成、地域の活性化、川崎市の魅力づくりなどの行政の施策にも留意した取り組みを検討すること。</p> <p>公平で平等な利用を確保しつつ、経済効果にも留意し、公共性と効率性との両立を目指すよう努め、サービス水準の向上と効率的な管理運営による経費節減に努めるとともに、施設の老朽化も考慮した中長期的視野も含め、施設の長寿命化・省エネ化などもふまえた管理を行うこと。また、24年度より段階的に変更されている「ふれあいネット」業務について、積極的に協力し対応すること。</p> <p>引き続き総合型地域スポーツクラブの育成や支援、クラブ間のネットワーク形成の協力を行い、クラブ活動の拡大や認知度の向上に向けた取り組みを行うこと。</p>
---